

小規模多機能ホーム きいちご倶楽部

平成 31 年度第 2 回 地域運営推進会議

<出席者>

塩冶町地区代表、塩冶地区民生委員、出雲市介護相談員・塩冶地区福祉委員、出雲市高齢者福祉課、高齢者あんしん支援センター、社会福祉法人星隆会理事長、きいちご倶楽部

<前回の意見、議論の要点>

(委員) きいちごから暖らんに移った人が 4 人とのことだが、きいちごから勧めたのか

(きいちご) 半年以上前からご利用者の状態の悪化により自宅を中心にした生活は困難とされていて、グループホームができるのなら、それまで頑張ってみようと言っておられた方たちが今回移られた。

(委員) 外部評価を総括票としてまとめるのだが、この総括が市から見てどう評価されるか教えてほしい

(市) 改善計画としては、漠然とした努力目標というより、できるだけ具体的、期限を区切った計画内容、または数値化できる計画が評価しやすい。

(きいちご) できるだけ具体的な内容とし、期限が設定できるものは設定するなど、修正して提出したい。

<改善計画に対する実施事項>

評価項目	今年度の改善計画	5～6 月の実施事項
A. 事業所自己評価の確認	利用者についてこまやかな情報の収集と共有ができるように、それが必要なご利用者について個人情報ノートを作り、各職員が日頃の利用者、家族の言動を記入する。	
B. 事業所のしつらえ・環境	従来行っている定期的な清掃の他、重点的に掃除や整頓が必要な個所の美化に努める。例：ホワイトボードの下、ベッドの下など。	美化委員会職員を中心に、夕方～夜間に定期的に清掃や整頓を行っている
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 笹巻き作り、遠足など、ご家族がきいちごの活動へ参加できる機会を増やす。 ・ 既に協力いただいているボランティアの他に、新たなボランティア（書道、音楽活動）に来ていただく。 	笹巻き作りに家族に参加していただいた。三味線のボランティアに来ていただいた。保育園園児が遊びに来た
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園、暖らんと一緒に地域の方との活動（週 1 回 ミュージック・ケアによる音楽療法的活動）に参加する。 ・ 塩冶地区の敬老会などの行事に参加させていただく。 	暖らんにでかけて、保育園児、暖らん利用者と音楽やレク活動に参加した

E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・委員から支援が必要と思われる方の情報を提供してもらい、支援について検討する。 ・改善計画の実行の状況を運営推進会議に報告する。 	(本報告)
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・洪水の際の避難経路を含めた防災計画を作成し、年1回は防災訓練を行う。 ・9月までの火災訓練において地域の消防団との連携の機会をもつ。 	

<ご利用者の状況>

1. 登録状況

6月26日現在、18人の方に利用登録いただいている（登録定員：25人）

要介護度と男女別の人数は次のとおり。平均要介護度:2.2

要介護度	男性	女性	計
要支援2	1	0	1
1	2	2	4
2	2	5	7
3	2	0	2
4	2	2	4
5	0	0	0
計	9	9	18

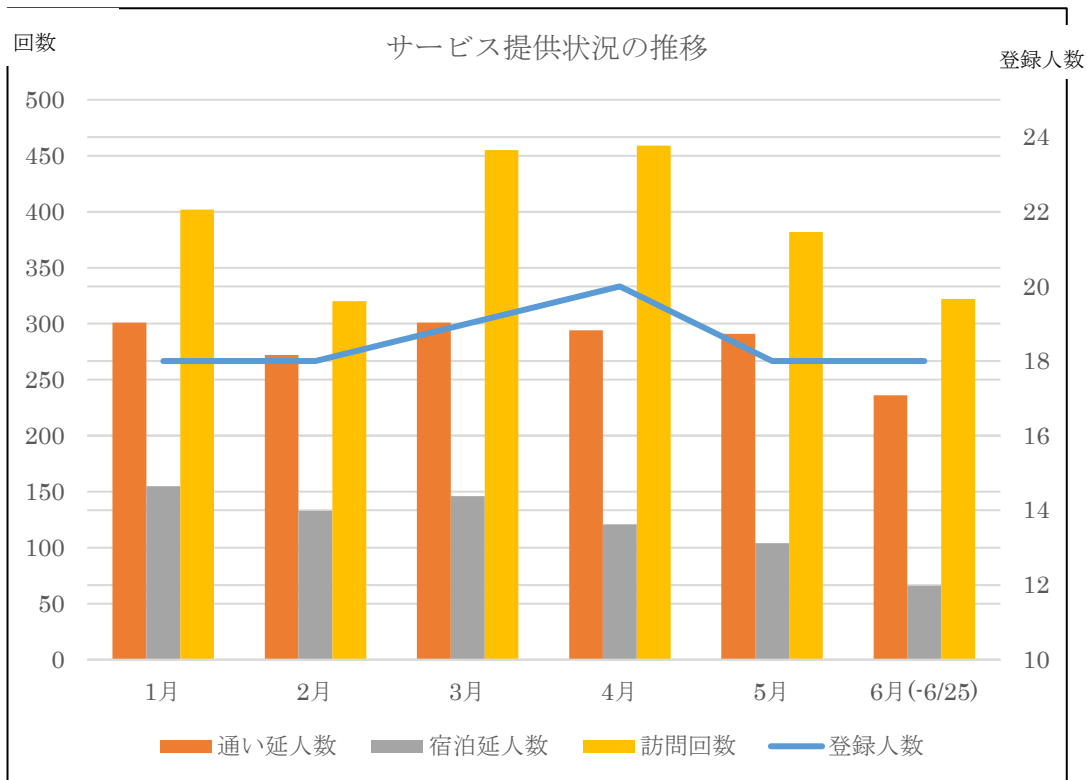
このうち、ひとり入院されている

5月初旬に宿泊中に居室でひとりで歩行して転倒した。受診して大転子部骨折で入院する。手術はなし。市に事故報告を行った。退院は未定。

年齢と男女別の人数は次のとおり。平均年齢:81.7歳

年齢	男性	女性	計
60歳台	1	0	1
70歳台	5	1	6
80歳台	3	6	9
90歳台	0	1	1
100歳台	0	1	1
計	9	9	18

2. サービス提供状況の推移（登録人数、通い、泊まり、訪問）



別紙「小規模多機能型居宅介護 サービス提供状況報告書」も参照してください

3. ご利用者のご様子

「きいちご便り 16号」をご参照ください